

情報リテラシー 総合編

Windows 7 用補足資料

「情報リテラシー 総合編」(型番:FKT1309)は、Windows 8.1 環境でブラウザーに Internet Explorer 11 を使用して学習する場合の操作手順を掲載しています。Windows 7 環境でブラウザーに Internet Explorer 10 を使用して学習する場合の操作手順の違いについては、次のとおりです。

■情報モラル&情報セキュリティ編■ ネット社会で情報を安全に使いこなそう

頁	Lesson	見出し	学習時の注意事項
M-64	Lesson7 モバイル機器の活用と管理	30 無線 LAN を安全に使うには？	<p>Windows 7 では常にデスクトップが表示されているため、スタート画面からデスクトップを表示する操作が不要です。 <u>「More Windows の共有の詳細設定」</u>の操作手順を次の内容に置き換えてください。</p> <p>Microsoft Windows Network 上で見えないようにする方法は次のとおりです。</p> <p>◆タスクバーのを右クリック→《ネットワークと共有センターを開く》→《共有の詳細設定の変更》→《<input checked="" type="radio"/> ネットワーク探索を無効にする》</p> <p>ファイル共有を無効にする方法は、次のとおりです。</p> <p>◆タスクバーのを右クリック→《ネットワークと共有センターを開く》→《共有の詳細設定の変更》→《<input checked="" type="radio"/> ファイルとプリンターの共有を無効にする》</p> <p><u>「More 無線LANの暗号化の確認」</u>を次の内容に置き換えてください。</p> <p>◆タスクバーのを右クリック→《ネットワークと共有センターを開く》→《アクティブなネットワークの表示》の《接続:》の名称をクリック→《ワイヤレスのプロパティ》→《セキュリティ》タブの《セキュリティの種類》と《暗号化の種類》で暗号化方式を確認</p>
M-65	Lesson7 モバイル機器の活用と管理	30 無線 LAN を安全に使うには？	<p>Windows 7 では常にデスクトップが表示されているため、スタート画面からデスクトップを表示する操作が不要です。 <u>「More 自宅で無線 LAN のアクセスポイントを設置するには」</u>内の<u>「<input checked="" type="radio"/> MAC アドレスフィルタリングを設定する」</u>の操作手順を次の手順に置き換えてください。</p> <p>◆タスクバーのを右クリック→《ネットワークと共有センターを開く》→《アクティブなネットワークの表示》の《接続:》の名称をクリック→《詳細》→《物理アドレス》を確認</p>

■ウィンドウズ編■ Windows を使ってみよう Windows 8.1

すべてのページを読み替えていただく必要があります。別資料「Windows 編 Windows を使ってみよう(Windows 7)」をご参照ください。

■インターネット編■ インターネットを使ってみよう Internet Explorer 11

頁	STEP	見出し	学習時の注意事項
I-4	STEP2 ホームページを見よう	1 Internet Explorer の起動	Windows 7 では常にデスクトップが表示されているため、スタート画面からデスクトップを表示する操作が不要です。 操作手順①～③は省略してください。
I-6	STEP2 ホームページを見よう	3 アドレス(URL)の指定	Windows 7 でのタッチキーボードの操作方法は、お使いの機器によって異なります。 操作手順①の※のタッチキーボードの操作方法は、お使いの機器のマニュアルをご確認ください。
I-11	STEP3 ホームページを検索しよう	1 ホームページの検索	操作手順①の1つ目の※の入力モードは、言語バーで確認してください。 操作手順①の2つ目の※のタッチキーボードの操作方法は、お使いの機器によって異なるため、マニュアルをご確認ください。
I-13 ～ I-18	参考学習 Windows ストアアプリ の Internet Explorer を 使ってみよう		Windows 7には、Windows ストアアプリの Internet Explorer はインストールされていません。省略してください。

■文書作成編■ ワードプロソフトを活用しよう Word 2013

頁	STEP	見出し	学習時の注意事項
W-45	STEP5 表現力をアップする機能を使ってみよう	6 PDF ファイルとして保存	Windows 7には、Windows Reader はインストールされていません。Windows 7でPDF ファイルを表示するには、インターネット上から「Adobe Reader」をダウンロードし、インストールする必要があります。Adobe Reader はアドビシステムズ社が開発した表示用のアプリで、無償で提供されています。 Adobe Reader をインストール後、操作手順⑧を次の手順に置き換えてください。 ⑧Adobe Reader が起動し、PDF ファイルが表示されます。 ※PDF ファイルを閉じておきましょう。 PDF ファイルを閉じるには、Adobe Reader の  (閉じる) をクリックします。 ※《Word》ウィンドウを表示し、文書を閉じておきましょう。
W-68	参考学習 2 タッチで操作しよう		新しい Office のタッチ機能は、Windows 8 以降の環境に対応しています。Windows 7 環境では、動作が異なる場合があります。

■表計算編■ 表計算ソフトを活用しよう Excel 2013

Windows 7 で操作する場合に、操作手順の異なる箇所はありません。

■プレゼンテーション編■ プレゼンテーションソフトを活用しよう PowerPoint 2013

Windows 7 で操作する場合に、操作手順の異なる箇所はありません。

■データベース編 ■ データベースソフトを活用しよう Access 2013

頁	STEP	見出し	学習時の注意事項
A-6	STEP1 Access について	3 データベースの構成要素	<p>「More ファイルの拡張子の表示」の操作手順◆を次の手順に置き換えてください。</p> <p>◆  (スタート) → 《コントロールパネル》 → 《デスクトップのカスタマイズ》 → 《フォルダーオプション》 → 《表示》タブ → 《<input type="checkbox"/> 登録されている拡張子は表示しない》</p>
A-32	STEP3 データベースを設計しよう	1 データベースの全体像をつかむ	<p>「4 データベースを開く」の操作手順①を次の手順に置き換えてください。</p> <p>①  (スタート) → 《すべてのプログラム》 → 《Microsoft Office 2013》 → 《Access 2013》をクリックします。</p>

■Web ページ作成編 ■ Web ページを作成しよう HTML4.01/CSS2.0

頁	STEP	見出し	学習時の注意事項
H-5	STEP2 HTML ファイルを作成しよう	2 メモ帳の起動	<p>「Point ファイルの拡張子の表示」の操作手順◆を次の手順に置き換えてください。</p> <p>◆  (スタート) → 《コントロールパネル》 → 《デスクトップのカスタマイズ》 → 《フォルダーオプション》 → 《表示》タブ → 《<input type="checkbox"/> 登録されている拡張子は表示しない》</p>
H-12	STEP2 HTML ファイルを作成しよう	4 HTML ファイルの保存	<p>「More Windows ストアアプリの Internet Explorer で確認する」 Windows 7には、Windows ストアアプリの Internet Explorer はインストールされていません。省略してください。</p>

以上

Windows

■ Windows編 ■

Windowsを 使ってみよう (Windows 7)

【対応書籍】

情報リテラシー

(型番：FPT1307)

情報リテラシー 入門編

(型番：FPT1308)

情報リテラシー 総合編

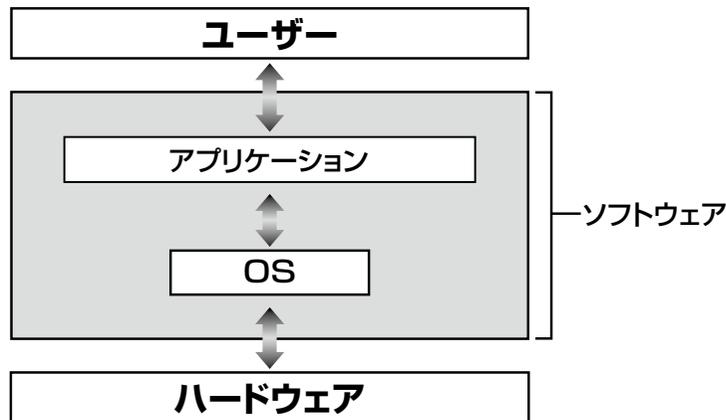
(型番：FPT1309)

STEP1	Windowsについて	S-1
STEP2	Windowsの起動と終了を確認しよう...	S-2
STEP3	Windowsの画面を確認しよう	S-4
STEP4	基本操作を確認しよう	S-5
STEP5	ファイルを上手に管理しよう	S-12
STEP6	コントロールパネルについて	S-24

1 Windowsとは

「Windows」は、マイクロソフト社が開発したOSです。「OS」は、パソコンを動かすための基本的な機能を提供するソフトウェアで、ハードウェアとアプリケーションの間を取り持つ役割を果たします。

- 操作対象をマウスで選択しながら簡単に操作できます。
- 基本的な操作方法が共通なので、ひとつのアプリケーションの操作方法を習得すれば、ほかのアプリケーションも比較的簡単に習得できます。
- 複数のアプリケーションを同時に起動し、それらを切り替えながら作業できます。
- 周辺機器を簡単に増設できるプラグアンドプレイ機能や、動画や音楽を楽しむことができるマルチメディア機能などを搭載しています。
- 問題を引き起こすプログラムが、ネットワークやインターネットを通じて侵入しないように、パソコンを保護するセキュリティ機能を搭載しています。



アプリケーション

ソフトウェアは、役割によってOSとアプリケーションに分類されます。アプリケーションは、OSの上で動作するある特定の役割を持ったソフトウェア(ワープロソフトや表計算ソフトなど)のことです。「アプリケーションソフト」ともいいます。

1 Windowsの起動

パソコンの電源を入れて、Windowsを操作可能な状態にすることを「起動」といいます。

Windowsを起動しましょう。

- ① 電源ボタンを押して、パソコンに電源を入れます。
- ② 図のような画面が表示されます。



参考 SKILL UP Windows起動時の画面

パソコンの設定によって、Windowsが起動するまでに次のような画面が表示される場合があります。

●パスワード入力画面

ユーザーにパスワードを設定している場合、パスワードを入力する画面が表示されます。この画面が表示されたら、ユーザーに設定したパスワードを入力します。



●ユーザー選択画面

1台のパソコンに複数のユーザーを登録している場合、ユーザーを選択する画面が表示されます。この画面が表示されたら、これから操作するユーザーを選択します。



●ネットワーク接続画面

利用しているパソコンが、企業や学校のネットワークに接続され、ドメイン(ネットワークのグループ)に参加している場合、「ログオンするには **[Ctrl]** + **[Alt]** + **[Delete]** を押してください。」というメッセージが表示されます。3つのキーを押すと、パスワード入力画面またはユーザー選択画面に進みます。

Point! ログオン

「ログオン」とは、ユーザーがパソコンに自分自身を認識させ、パソコンを利用可能にすることです。

2 Windowsの終了

パソコンでの作業を終わることを「終了」といいます。

Windowsを終了し、パソコンの電源を完全に切るには、「シャットダウン」を実行します。

Windowsを終了し、パソコンの電源を切りましょう。

①  (スタート) → **シャットダウン** をクリックします。



② パソコンの電源が切れます。

Point! パソコンの終了方法

スタートメニューの右下にある **シャットダウン** の  をポイントすると、パソコンの終了方法が表示されます。

●ユーザーの切り替え

アプリケーションを実行したままの状態、別のユーザーに切り替えることができます。

●ログオフ

現在ログオンしているユーザーのパソコンの使用を終了します。

●ロック

パソコンをロック(操作できない状態)します。

●再起動

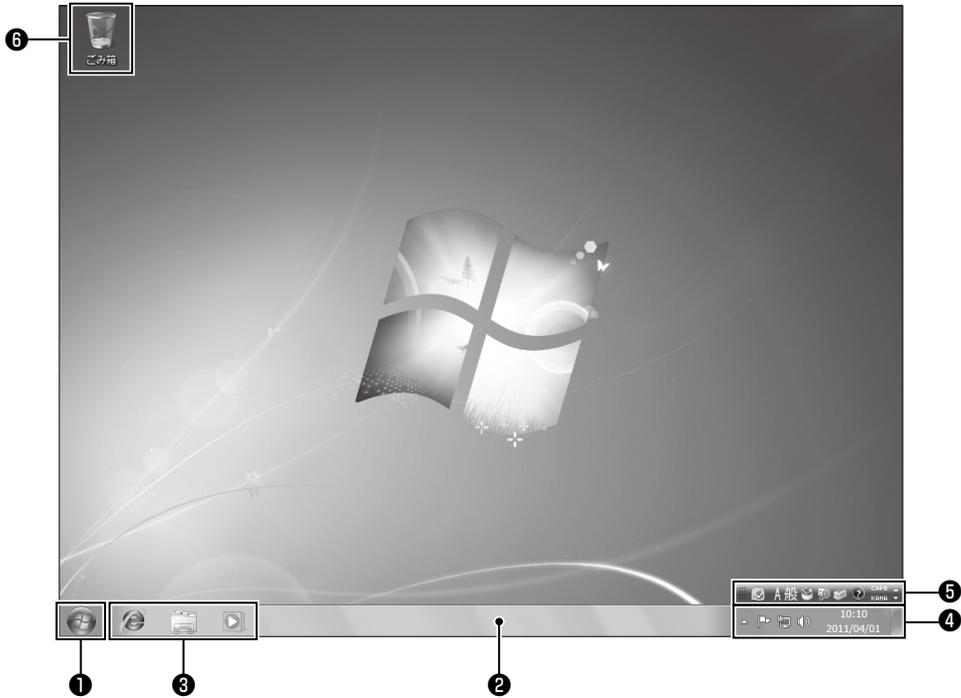
パソコンを完全に終了し、電源を切ったあとに自動的に起動します。

●スリープ

すぐに作業が再開できるように、パソコンの電源を完全に切らずに省電力の状態にします。

1 デスクトップの画面構成

Windowsを起動すると表示される画面を「デスクトップ」といいます。デスクトップの各部の名称と役割は、次のとおりです。



① スタートボタン

クリックすると、スタートメニューが表示されます。アプリケーションを起動したり、パソコンの設定を変更したりするときに使います。また、Windowsを終了するときにも使います。ほとんどの作業をこのボタンから開始します。

② タスクバー

実行中のアプリケーションや開いているフォルダーがアイコンとして表示されます。アイコンをクリックすると、アプリケーションやフォルダーが切り替わります。

③ クイック起動アイコン

よく使うアプリケーションをアイコンとして登録できます。クリックすると、アプリケーションをすぐに起動できます。

④ 通知領域

本日の日付と現在の時刻が表示されます。また、設定内容や監視状況のアイコンも表示されます。

⑤ 言語バー

日本語の入力方法や変換方法などを設定するときに使います。

⑥ ごみ箱

不要になったファイルやフォルダーを一時的に保管する場所です。

ごみ箱から削除すると、パソコンから完全に削除されます。アイコンをダブルクリックすると、ごみ箱が開き、中に入っているファイルやフォルダーを確認できます。

STEP4 基本操作を確認しよう

1 アプリケーションの起動

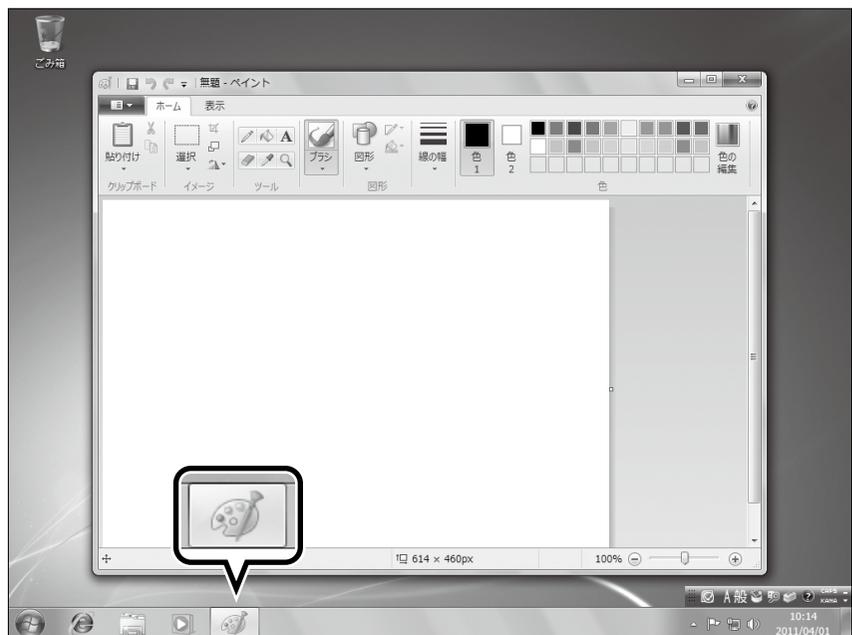
アプリケーションは、「ウィンドウ」と呼ばれる四角い枠の中で操作を行います。アプリケーションを起動すると、ウィンドウが表示されます。

Windowsに標準で搭載されている画像作成ソフト「ペイント」を起動しましょう。

- ① (スタート) → 《すべてのプログラム》 → 《アクセサリ》 → 《ペイント》をクリックします。



- ② 《ペイント》ウィンドウが表示されます。
※タスクバーに《ペイント》のアイコンが表示されます。



スタートメニューの構成は次のとおりです。



①よく使用するプログラムの一覧

ユーザーがよく使用するアプリケーションが自動的に表示されます。ユーザーの使用状況によって、表示されるアプリケーションが自動的に入れ替わります。一覧から選択すると、アプリケーションが起動します。

②すべてのプログラム

パソコンにインストールされているアプリケーションを起動するときに使います。

③検索ボックス

アプリケーションやファイルを検索するときに使います。

④ユーザー名

ユーザーごとにあらかじめ用意されている個人用フォルダーを開くときに使います。クリックすると表示される《(ユーザー名)》ウィンドウでアイコンをダブルクリックすると、個人用フォルダーが開きます。

⑤ドキュメント

個人用フォルダーのうち、「ドキュメント」を開くときに使います。

⑥ピクチャ

個人用フォルダーのうち、「ピクチャ」を開くときに使います。ピクチャは、特に画像ファイルを保存するのに適しています。

⑦ミュージック

個人用フォルダーのうち、「ミュージック」を開くときに使います。ミュージックは、特に音声ファイルを保存するのに適しています。

⑧コンピューター

内蔵しているハードディスクや接続している媒体の中身を確認するときに使います。

⑨コントロールパネル

パソコンの各種設定を変更するときに使います。

⑩デバイスとプリンター

パソコンに接続されている周辺機器を確認するときに使います。

⑪既定のプログラム

アプリケーションとファイルの種類を関連付けるときに使います。

⑫ヘルプとサポート

Windows 7の機能や操作方法を調べるときに使います。

⑬シャットダウン

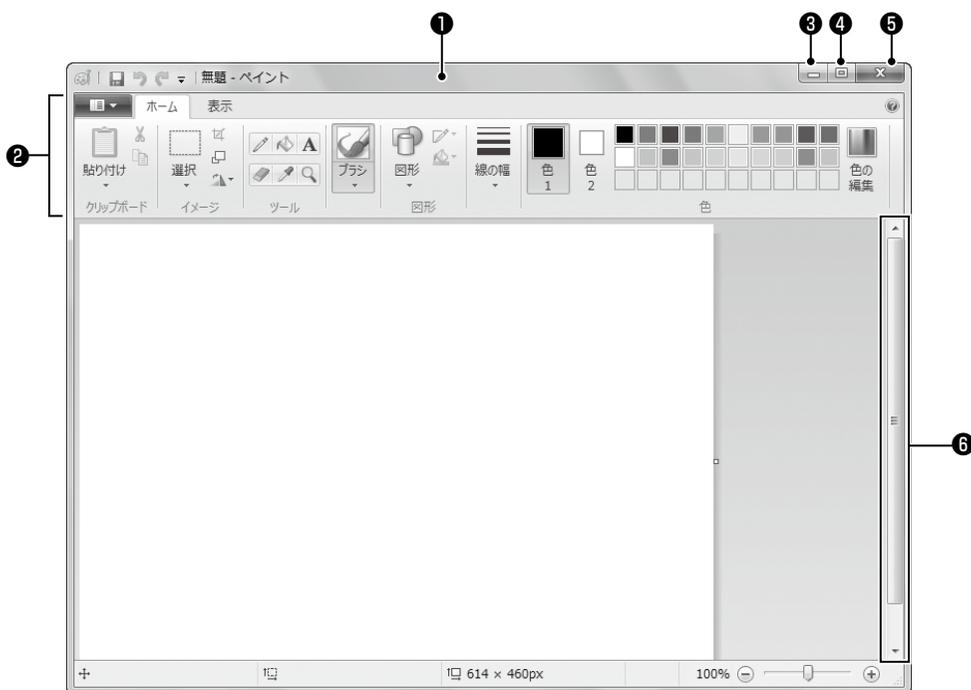
Windowsの電源を切断して、完全に終了するときに使います。

⑭

ユーザーを切り替えたり、再起動したりするときに使います。

2 ウィンドウの各部の名称と役割

ウィンドウの各部の名称と役割は、次のとおりです。



① タイトルバー

起動したアプリケーションや開いているファイルの名前が表示されます。

② リボン

コマンドを実行するときに使います。関連する機能ごとに、タブで分類されています。

③ 最小化

ウィンドウが一時的に非表示になります。

※ウィンドウを再表示するには、タスクバーのアイコンをクリックします。

④ 最大化

ウィンドウがデスクトップ画面全体に表示されます。

※  (元に戻す(縮小))

ウィンドウを最大化すると、 (最大化)から (元に戻す(縮小))に切り替わります。クリックすると、ウィンドウは最大化する前のサイズに戻ります。

⑤ 閉じる

アプリケーションを終了し、ウィンドウが閉じられます。

⑥ スクロールバー

画面に表示されていない作業領域を表示するときに使います。つまみをドラッグするが、   をクリックすると、作業領域の表示部分が上下左右に動きます。

※すべての作業領域が表示されているときは、スクロールバーは表示されません。

3 ウィンドウの最大化・復元・最小化

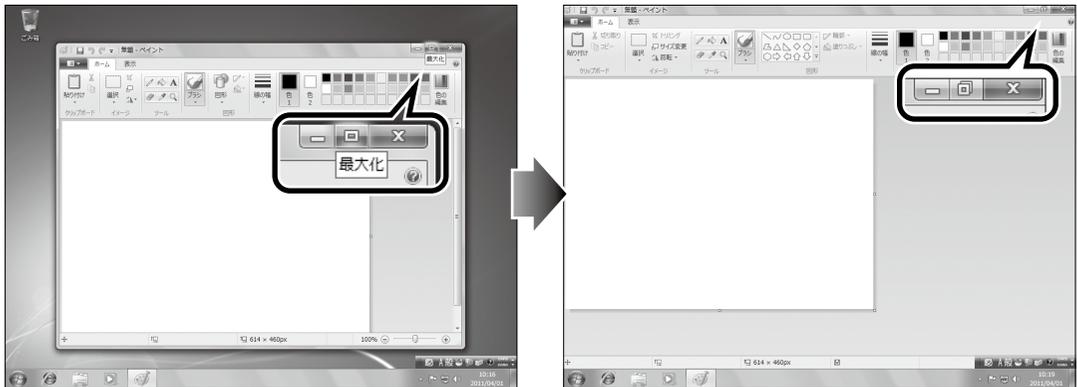
ウィンドウをデスクトップ画面全体に大きく表示したり、一時的に非表示にしたりできます。

ウィンドウのサイズは、ボタンをクリックして変更します。

▶▶1 ウィンドウの最大化

《ペイント》ウィンドウを画面全体に表示しましょう。

- ①《ペイント》ウィンドウの  (最大化) をクリックします。
 - ②《ペイント》ウィンドウが画面全体に表示されます。
- ※  (最大化) が  (元に戻す(縮小)) に切り変わります。



参考 541 UP その他の方法(最大化)

- ◆ウィンドウのタイトルバーをポイント→画面上までドラッグ
- ◆ウィンドウのタイトルバーをダブルクリック

▶▶2 ウィンドウの復元

《ペイント》ウィンドウをもとのサイズに戻しましょう。

- ①《ペイント》ウィンドウの  (元に戻す(縮小)) をクリックします。
- ②《ペイント》ウィンドウがもとのサイズで表示されます。



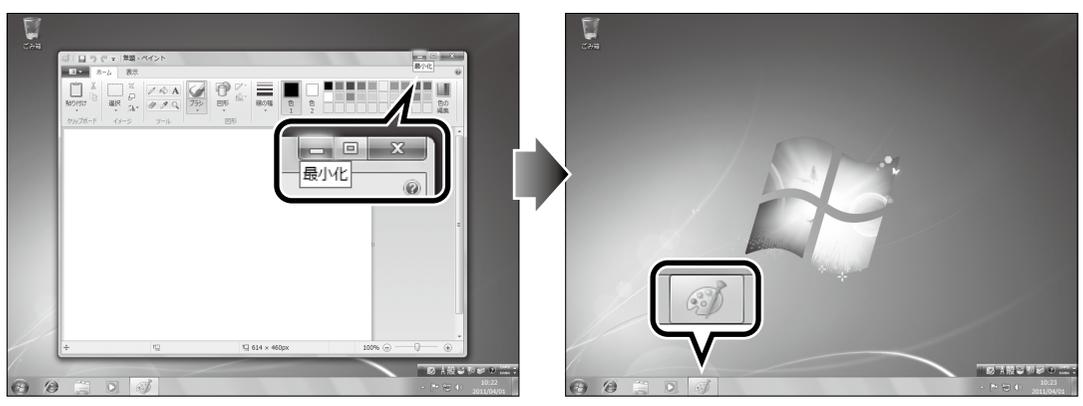
参考 **その他の方法(復元)**

- ◆ウィンドウのタイトルバーをポイント→画面の内側へドラッグ
- ◆ウィンドウのタイトルバーをダブルクリック

▶▶3 **ウィンドウの最小化**

《ペイント》ウィンドウを一時的に非表示にしましょう。

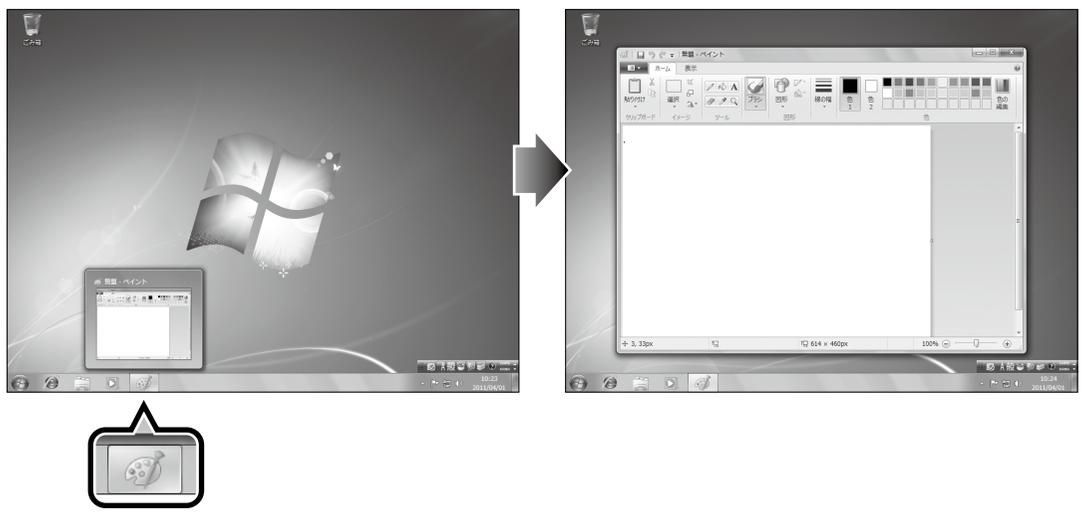
- ①《ペイント》ウィンドウの  (最小化) をクリックします。
 - ②《ペイント》ウィンドウが非表示になり、タスクバーに  (ペイント) だけが表示されます。
- ※ウィンドウを最小化してもアプリケーションは起動しています。



▶▶4 **ボタンからの復元**

《ペイント》ウィンドウを再表示しましょう。

- ①タスクバーの  (ペイント) をクリックします。
- ②《ペイント》ウィンドウが再表示されます。

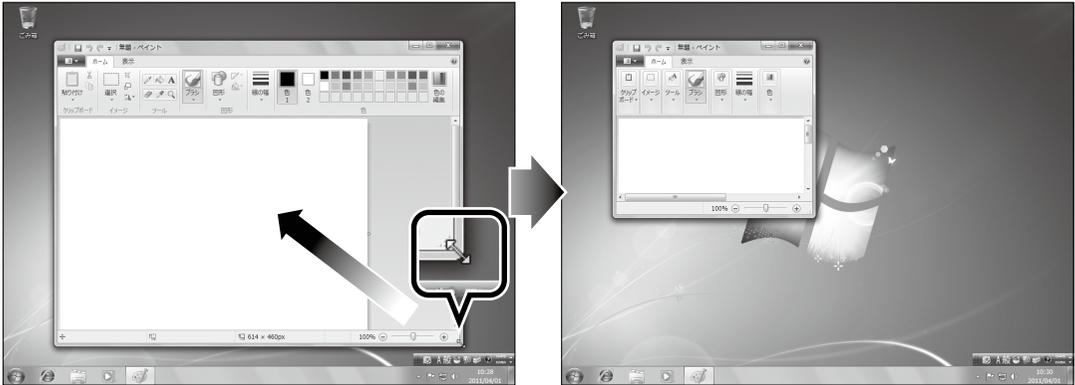


4 ウィンドウのサイズ変更

ウィンドウは拡大したり縮小したりできます。ウィンドウの周囲の枠線をドラッグしてサイズを変更します。

《ペイント》ウィンドウのサイズを変更しましょう。

- ① 《ペイント》ウィンドウの右下をポイントします。
 - ② マウスポインターの形が  に変わったら、図のようにドラッグします。
 - ③ 《ペイント》ウィンドウのサイズが変更されます。
- ※マウスの左ボタンから手を離れた時点で、ウィンドウのサイズが確定されます。

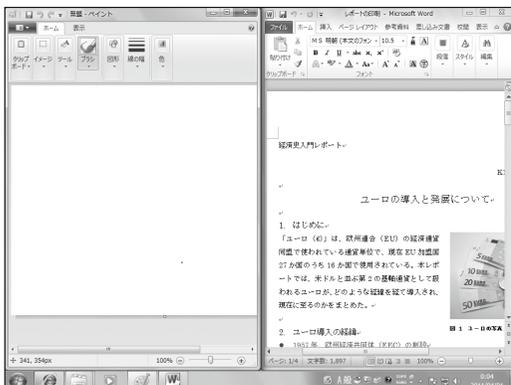


マウスポインターの形

ウィンドウの周囲の枠線をポイントすると、マウスポインターの形が次のように変わります。ドラッグして任意のサイズに変更できます。

ポイントする場所	マウスポインターの形	説明
左右		横方向に拡大・縮小できます。
上下		縦方向に拡大・縮小できます。
左上・右下		縦横を一度に拡大・縮小できます。
右上・左下		

参考 SKILL UP ウィンドウを左右に整列する



ウィンドウを画面の端にドラッグすると、ウィンドウのサイズが自動的に変更されます。

2つのウィンドウを左右に整列する方法は、次のとおりです。

◆ウィンドウのタイトルバーをポイント→画面の右端までドラッグ→拡張後のウィンドウの輪郭が表示されたら、マウスから手を離す。

※同様に、もうひとつのウィンドウのタイトルバーを画面の左端までドラッグします。

5 ウィンドウの移動

ウィンドウはデスクトップ上で自由に移動できます。ウィンドウのタイトルバーをドラッグして移動します。

《ペイント》ウィンドウを移動しましょう。

① 《ペイント》ウィンドウのタイトルバーをポイントし、図のようにドラッグします。

② 《ペイント》ウィンドウが移動します。

※マウスの左ボタンから手を離れた時点で、ウィンドウの位置が確定されます。



6 ウィンドウを閉じる

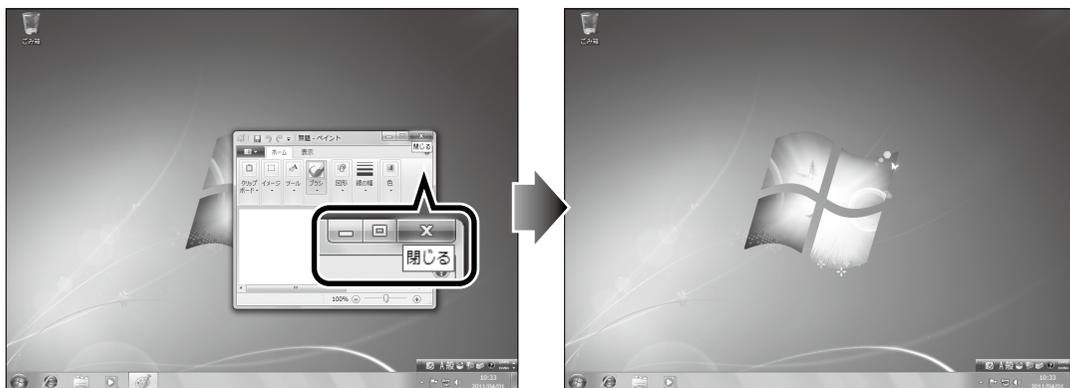
ウィンドウを閉じると、アプリケーションが終了します。

《ペイント》ウィンドウを閉じましょう。

① 《ペイント》ウィンドウの **X** (閉じる) をクリックします。

② 《ペイント》ウィンドウが閉じられ、アプリケーションが終了します。

※タスクバーから  (ペイント) のアイコンがなくなります。



Point! 終了時のメッセージ

アプリケーションで操作をした場合、保存せずに終了しようとする時、保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。保存する場合は《上書き保存》を、保存しない場合は《保存しない》をクリックします。

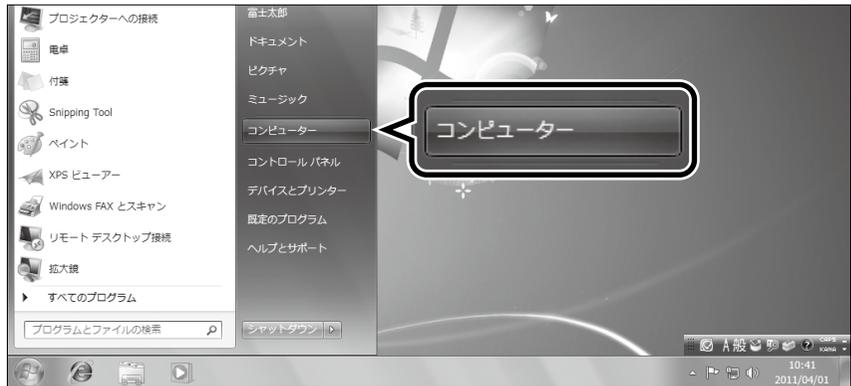
1 コンピューター

「コンピューター」を使うと、パソコンのドライブ構成を確認したり、フォルダーやファイルを管理したりできます。

2 コンピューターを開く

コンピューターを開きましょう。

①  (スタート) → 《コンピューター》をクリックします。



② 《コンピューター》ウィンドウが表示されます。

※表示される内容は、お使いのパソコンにより異なります。

本書では、ハードディスクをCドライブ・Dドライブ、フロッピーディスクドライブをAドライブ、DVD R/WドライブをEドライブとして認識した構成を前提に解説をしています。構成が異なる場合は、ドライブを読み替えて操作してください。



3 コンピューターの画面構成

コンピューターの各部の名称と役割は次のとおりです。



① アドレスバー

フォルダーの階層を表示します。表示されるフォルダーの名前をクリックすると、そのフォルダーに移動できます。

② 検索ボックス

ドライブやフォルダーの中から、条件を指定してファイルを検索します。

③ コマンドバー

よく使う機能がボタンに登録されています。ウィンドウに表示される内容によってボタンは異なります。

④ ナビゲーションウィンドウ

パソコン内の各要素は《お気に入り》《ライブラリ》《コンピューター》《ネットワーク》の4つのカテゴリに分類されています。それぞれのカテゴリ内は階層構造になっています。階層を順番にたどることによって、作業対象を選択できます。

⑤ ファイルリスト

ナビゲーションウィンドウで選択した作業対象の中身が、ドライブ・フォルダー・ファイルなどのアイコンで表示されます。

⑥ 詳細ウィンドウ

ナビゲーションウィンドウやファイルリストで選択している作業対象の詳細が表示されます。

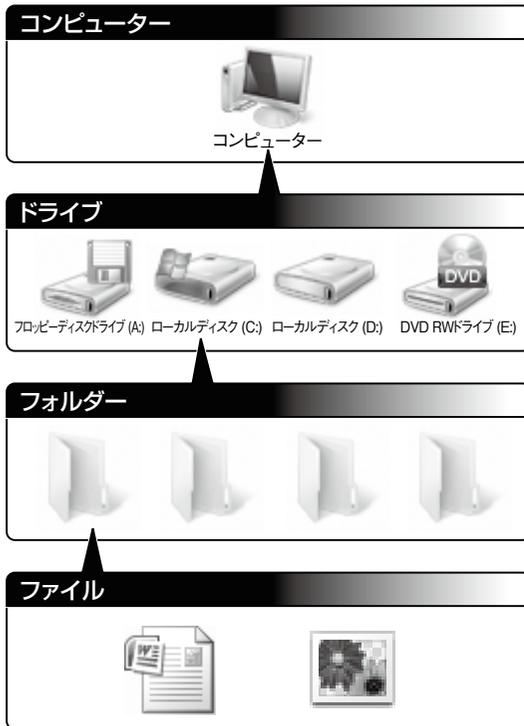


メニューバー

[Alt] を押すとメニューバーが表示され、コマンドを実行できます。再度 [Alt] を押すと、メニューバーは非表示になります。

4 ファイルの表示

《コンピューター》ウィンドウでドライブを選択すると、ドライブに保存されているファイルやフォルダーの一覧が表示されます。



Point! フォルダー

関連するファイルをまとめて保存するための入れものです。ファイルを目的に応じて分類し、管理できます。
※同一フォルダー内に、同じ名前のファイルまたは同じ名前のフォルダーを保存することはできません。

Point! ファイル

Windowsでは、プログラムやデータをファイルという単位でまとめてハードディスクやCD/DVDなどに保存します。その際、情報を識別するために、ファイルには名前を付けて管理します。

Cドライブのフォルダー「Windows」内にあるファイルを一覧表示しましょう。

①  (ローカルディスク(C:))をダブルクリックします。



② ローカルディスク(C:)に保存されているフォルダーやファイルの一覧が表示されます。

※表示される内容は、お使いのパソコンにより異なります。

③  (Windows)をダブルクリックします。



④ フォルダー「Windows」内に保存されているフォルダーやファイルの一覧が表示されます。



参考 コンピューター内の階層表示

ナビゲーションウィンドウの《コンピューター》の  をクリックすると、コンピューターの階層構造が表示されます。

ドライブやフォルダーなどを階層的に確認できます。



5 ファイルの表示方法の変更

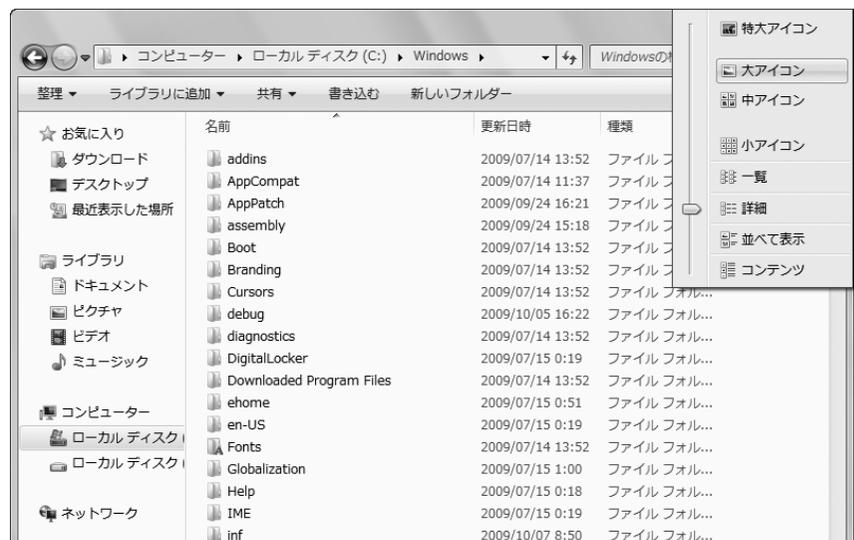
エクスプローラーのウィンドウで表示されるフォルダーやファイルは、アイコンのサイズを変更したり詳細な情報を表示したり、その表示方法を変更できます。

CDドライブのフォルダー「Windows」内にあるファイルの表示方法を「大アイコン」に変更しましょう。

- ① フォルダー「Windows」内に保存されているフォルダーやファイルの一覧が表示されていることを確認します。
- ②  の  (その他のオプション) をクリックします。



- ③ **《大アイコン》** をクリックします。



④ 大アイコンの表示に変更されます。



※ファイルの表示方法を《詳細》に戻しておきましょう。

※ナビゲーションウィンドウの《コンピューター》をクリックして、《コンピューター》の表示に戻しておきましょう。



アイコンのサイズ調整



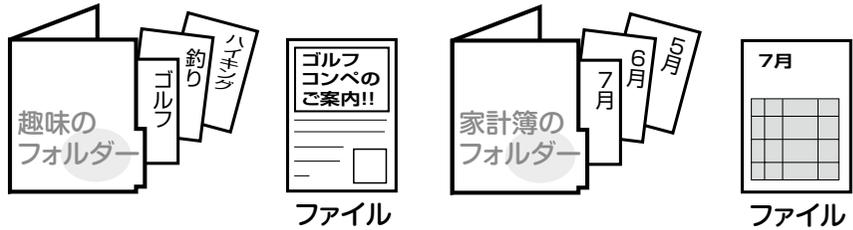
このメニューの「」の「(その他のオプション)」をクリックすると表示されるドロップダウンリストで、 をドラッグすると、アイコンを任意のサイズに変更できます。

参考 SKILL UP その他の方法(ファイルの表示方法の変更)

◆ファイルリストのアイコン以外の場所を右クリック→《表示》

6 フォルダーの作成

ファイルをわかりやすく管理するには、新しく別のフォルダーを作成し、ファイルを分類して保存するとよいでしょう。



Dドライブ内に「abc」というフォルダーを作成しましょう。

- ① 《コンピューター》ウィンドウが表示されていることを確認します。
- ②  (ローカルディスク (D:)) をダブルクリックします。
- ③ ローカルディスク (D:) に保存されているフォルダーやファイルの一覧が表示されます。
※表示される内容は、お使いのパソコンにより異なります。
- ④ コマンドバーの **新しいフォルダー** をクリックします。
- ⑤ 新しいフォルダーが作成され、「新しいフォルダー」が反転表示されます。



- ⑥ 「abc」と入力し、**Enter** を押します。
- ⑦ フォルダー「abc」が作成されます。



- ⑧ フォルダー「abc」をダブルクリックします。
- ⑨ フォルダー「abc」内が表示されます。
- ⑩ 新しいフォルダーなので、ファイルリストに何も表示されていないことを確認します。



参考 SKILL UP 名前の変更

フォルダーやファイルの名前を変更する方法は、次のとおりです。

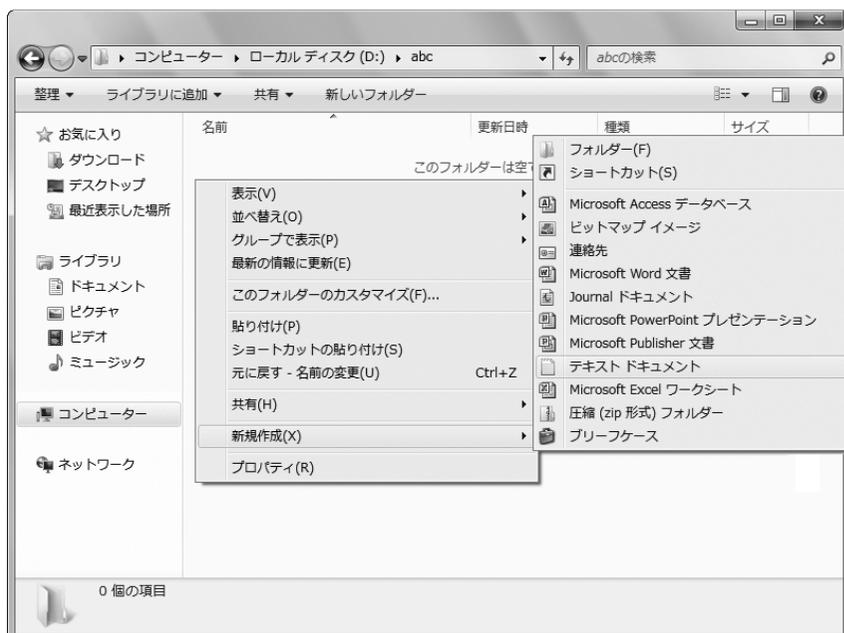
◆フォルダーやファイルを右クリック→《名前の変更》→名前の入力→**[Enter]**

※パソコンにあらかじめ用意されているフォルダーやファイルの名前を変更すると、正しく動作しなくなる可能性があるので注意しましょう。

7 ファイルの作成

作成したフォルダー「abc」内に、ファイル「練習」を作成しましょう。

- ① フォルダー「abc」内が表示されていることを確認します。
- ② ファイルリスト内を右クリックします。
- ③ 《新規作成》→《テキストドキュメント》をクリックします。



- ④ 新しいファイルが作成され、「新しいテキストドキュメント」が反転表示されます。
- ⑤ 「練習」と入力し、**[Enter]**を押します。
 ※入力モードが **あ** の状態で入力します。入力モードの切り替えは、**[半角/全角漢字]**を押します。
- ⑥ ファイル「練習」が作成されます。



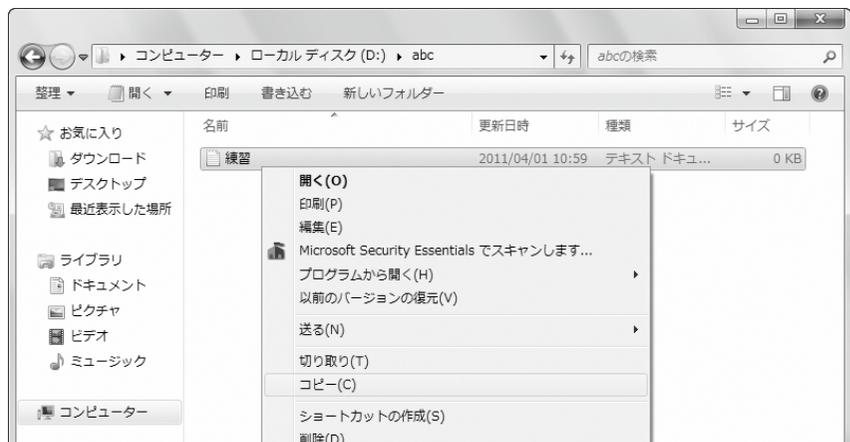
8 ファイルのコピー

異なるドライブ間や同じドライブ内のフォルダー間でファイルをコピーできます。

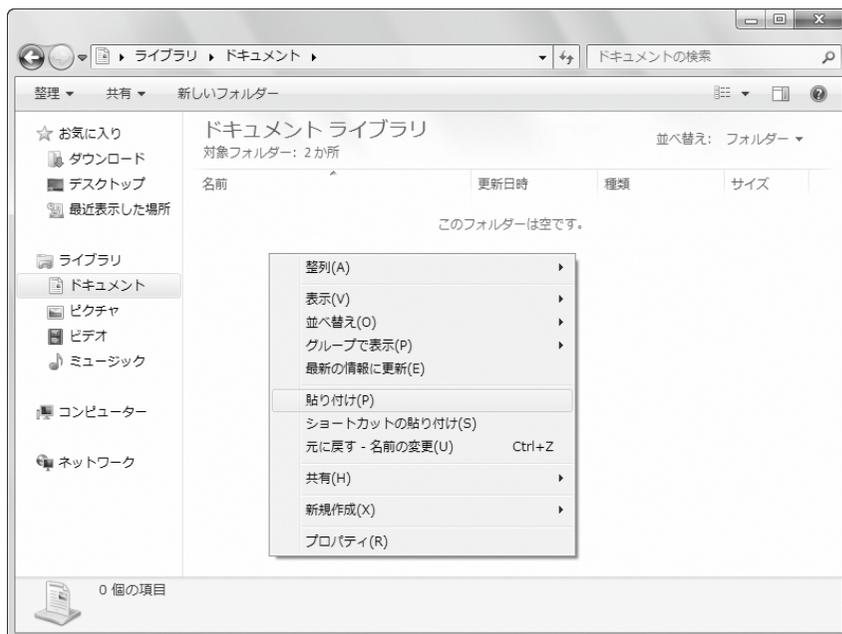
フォルダー「abc」内に作成したファイル「練習」を《ドキュメント》にコピーする方法を確認しましょう。

※《ドキュメント》はCドライブ内にあらかじめ作成されているフォルダーです。

- ① フォルダー「abc」内が表示されていることを確認します。
- ② ファイル「練習」を右クリックします。
- ③ 《コピー》をクリックします。



- ④ ナビゲーションウィンドウの《ドキュメント》をクリックします。
- ⑤ 《ドキュメント》ウィンドウが表示されます。
- ⑥ ファイルリスト内で右クリックします。
- ⑦ 《貼り付け》をクリックします。



- ⑧ ファイル「練習」がコピーされます。

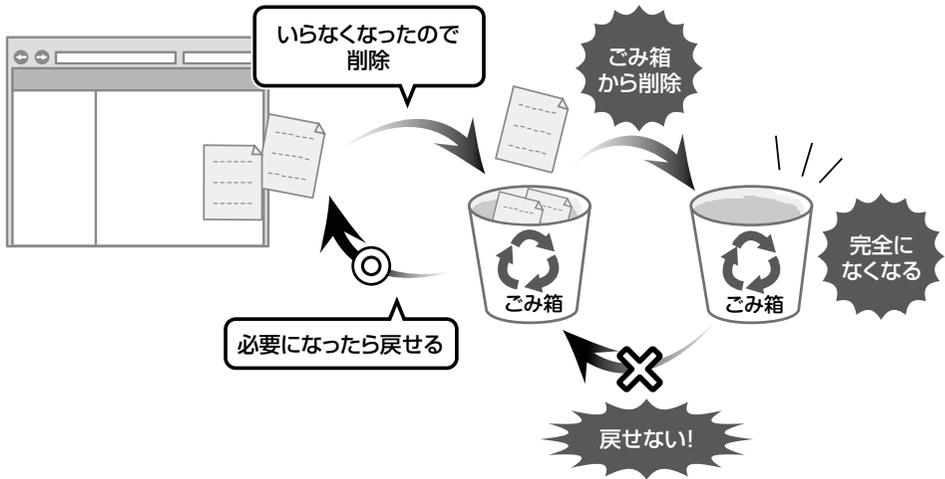


参考 SKILL UP その他の方法(コピー)

- ◆ コピー元のファイルを選択→**[Ctrl]**を押しながらコピー先にドラッグ
- ※異なるドライブにコピーする場合は、**[Ctrl]**を押さなくてもコピーできます。

9 ファイルの削除

不要になったファイルは削除できます。パソコンのハードディスクに保存されているファイルを削除すると、一時的にごみ箱の中に入ります。「ごみ箱」とは、削除したファイルを一時的に保管する領域です。ファイルがごみ箱に入っている間は、誤って削除しても、ごみ箱から取り出して復元できます。ファイルをパソコンから完全に削除するには、ごみ箱に入っているファイルを削除する必要があります。



ごみ箱のアイコンは、状態によって、次のように絵柄が異なります。

●ごみ箱が空の状態



●ごみ箱にファイルが入っている状態

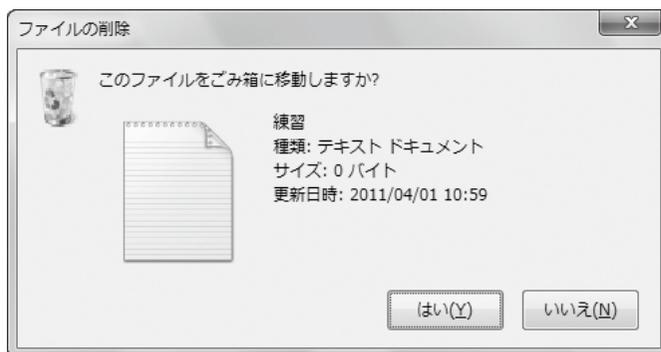


《ドキュメント》にコピーしたファイル「練習」を削除する方法を確認しましょう。

- ① 《ドキュメント》ウィンドウが表示されていることを確認します。
- ② ファイル「練習」をクリックします。
- ③ **[Delete]**を押します。



④ 図のようなメッセージが表示されたら、《はい》をクリックします。



⑤ ファイル「練習」が《ドキュメント》ウィンドウから削除され、ごみ箱に入ります。
※《ドキュメント》ウィンドウを閉じておきましょう。



参考 SKILL UP ごみ箱から復元する

ごみ箱に入っているファイルを、もとの場所に復元する方法は、次のとおりです。

- ◆  (ごみ箱)をダブルクリック→ファイルを選択→《この項目を元に戻す》

参考 SKILL UP ごみ箱を空にする

ごみ箱に入っているファイルをまとめて削除して、ごみ箱を空にする方法は、次のとおりです。

- ◆  (ごみ箱)を右クリック→《ごみ箱を空にする》



Point! ごみ箱に入らないファイル

USBメモリやフロッピーディスクなど、持ち運びできる媒体に保存されているファイルやネットワーク上のパソコンに保存されているファイルは、ごみ箱に入らず、すぐに削除されてしまいます。一旦削除すると、復元できないので、注意しましょう。

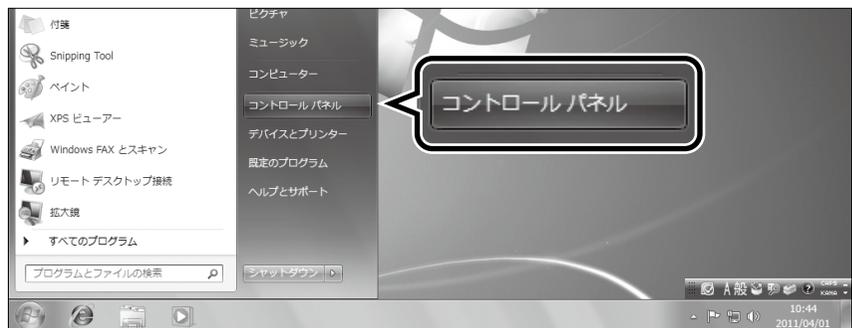
1 コントロールパネル

「コントロールパネル」では、システムの設定、ユーザーアカウントの追加、デスクトップのデザインや画面の配色、インターネットや接続に関する設定、プリンターやマウスなどの周辺機器、日付や時刻などがカテゴリごとに表示されます。

2 コントロールパネルを開く

コントロールパネルを開きましょう。

- ①  (スタート) → 《コントロールパネル》をクリックします。



- ② 《コントロールパネル》ウィンドウが表示され、コントロールパネルのアイテムがカテゴリごとに表示されます。



参考 **コントロールパネルの機能**

コントロールパネルで作業できる機能は、次のとおりです。



(システムとセキュリティ)

パソコンのシステムの情報やパフォーマンスの表示、ファイルとシステム設定のバックアップや復元、ソフトウェアとドライバの更新、セキュリティ状態の確認・変更などを行います。



(ネットワークとインターネット)

ネットワークの状態の確認・設定、ホームネットワークと共有に関する設定などを行います。



(ハードウェアとサウンド)

プリンターやその他のハードウェアの追加・削除、パソコンのサウンド、スピーカー、録音マイクの設定などを行います。



(プログラム)

プログラムやWindowsの機能の削除・変更などを行います。



(ユーザーアカウントと家族のための安全設定)

パソコンを共有する人の設定、パスワードの変更などを行います。



(デスクトップのカスタマイズ)

デスクトップの背景、スクリーンセーバー、画面の解像度、スタートメニューやタスクバーの設定などを行います。



(時計、言語、および地域)

日付や時刻、タイムゾーン、言語、通貨、時刻の設定などを行います。



(コンピューターの簡単操作)

拡大鏡やテキストの音声読み上げなどのユーザー補助機能、音声認識の設定などを行います。

3 デスクトップの背景の変更

デスクトップの背景を変更しましょう。

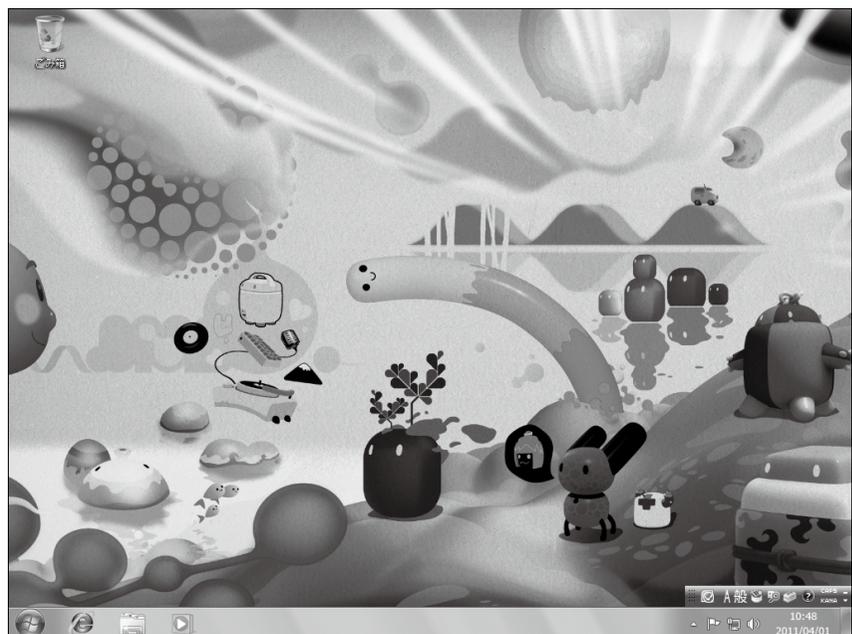
- ①《コントロールパネル》ウィンドウが表示されていることを確認します。
- ②《デスクトップの背景の変更》をクリックします。



- ③ 《デスクトップの背景》ウィンドウが表示されます。
- ④ 《画像の場所》が《Windowsデスクトップの背景》になっていることを確認します。
- ⑤ 画像の一覧から任意の背景を選択します。
※選択した画像の左上に☑が表示されます。
- ⑥ 《画像の配置》が《ページ横幅に合わせる》になっていることを確認します。
- ⑦ 《変更の保存》をクリックします。



- ⑧ 《コントロールパネル》ウィンドウに戻ります。
- ⑨  (閉じる)をクリックします。
- ⑩ デスクトップが選択した背景に変更されます。



※デスクトップの背景を、もとの画像に戻しておきましょう。

参考 スキルUP デスクトップの背景

《デスクトップの背景》ウィンドウの設定項目は次のとおりです。



① 画像の場所

背景にする画像の場所を選択します。
《参照》をクリックして、ユーザーの画像が保存されている場所を指定することもできます。

② 画像の一覧

選択した場所にある画像の一覧が表示されます。背景にする画像を にします。
複数の画像を選択するには、2つ目以降の画像を選択ときに **[Ctrl]** を押しながらかlickします。

③ 画像の配置

画像をどのように配置するかを選択します。1枚の画像をデスクトップ一杯に表示したり、並べて配置したりできます。

④ 画像を変更する間隔

画像の一覧で複数の画像を選択したときに、画像が切り替わる間隔を設定します。

⑤ シャッフル

画像の一覧で複数の画像を選択したときに、 にすると複数の画像を一定の間隔でランダムに切り替えて表示します。

参考 スキルUP その他の方法(デスクトップの背景の変更)

◆ デスクトップの空き領域を右クリック → 《個人設定》 → 《デスクトップの背景》

参考 スキルUP 自分で撮影した写真を背景にする

自分で撮影したデジタルカメラの写真を背景に設定できます。

◆ 写真をパソコンに取り込んでおく → (スタート) → 《コントロールパネル》 → 《デスクトップの背景の変更》 → 《画像の場所》の《参照》 → 写真の場所を選択 → 《OK》 → 一覧から選択 → 《変更の保存》

参考 スキルUP 背景を単色にする

背景を画像ではなく、単色に設定できます。

◆ (スタート) → 《コントロールパネル》 → 《デスクトップの背景の変更》 → 《画像の場所》の → 《単色》 → 一覧から選択 → 《変更の保存》

参考 スキルUP 背景をスライドショーにする

複数の画像をランダムに、自動的に切り替わるように「スライドショー」として背景を設定できます。

◆ (スタート) → 《コントロールパネル》 → 《デスクトップの背景の変更》 → 《画像の場所》の → 《Windows デスクトップの背景》 → 一覧からひとつ目の画像を選択 → **[Ctrl]** を押しながらかlickして2つ目以降の画像を選択 → 《画像を変更する間隔》の → 間隔を選択 → シャッフル → 《変更の保存》

■Windows編■

Windowsを使ってみよう

(Windows 7)

2013年12月 初版発行

著作／制作：富士通エフ・オー・エム株式会社

発行所：^{エフオーエム}FOM出版（富士通エフ・オー・エム株式会社）
〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー

-
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - その他、記載されている会社および製品などの名称は、各社の登録商標または商標です。
 - 本冊子は、構成・文章・データなどのすべてにおいて、著作権法上の保護を受けています。本冊子の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複製・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。
 - 本冊子に記載された内容などは、予告なく変更される場合があります。
-